

2019年3月9日
株式会社アマダホールディングス

アマダスクール、「第31回優秀板金製品技能フェア」の受賞作品を表彰

厚生労働大臣賞は株式会社ナダヨシ
経済産業大臣賞は株式会社佐藤医科器械製作所が受賞

職業訓練法人アマダスクール(神奈川県伊勢原市、理事長:末岡 慎弘)は、「第31回優秀板金製品技能フェア」において、優れた技能・技術で作られた板金(薄い金属製の板)作品計67点を選出し、3月9日(土)午後1時から、フォーラム246(アマダ伊勢原事業所内)にて、表彰式を行いました。

選考は日本塑性加工学会会員、シートメタル工業会役員や審査委員のほか、アマダ・ソリューションセンター(神奈川県伊勢原市)の来場者で行われ、その結果、応募総数263点の中から技能賞以上の優秀作品67点が選ばれました。

今回は、過去最多であった昨年に迫る出品数に加え、海外から新たに出品する国が増えて作品の幅が広がったこと、また、主要な賞に海外からの作品が例年より多く選出されたことが特徴として挙げられます。

■ 主な受賞作品

賞名	選考基準	作品名	受賞会社・団体	所在地
厚生労働大臣賞	最高度の熟練技能・手法を用い、品質・精度のきわめて高い作品	保育園用 デザインシンク	株式会社ナダヨシ	福岡県
経済産業大臣賞	最高度の加工技術・手段の開拓など、その成果が板金業界に広く貢献すると思われる作品	ねじりパイプ	株式会社佐藤医科器械製作所	滋賀県
神奈川県知事賞	イノベーションに繋がる未来志向のアイデアや考え方、技術・技能が含まれている作品	重なる!いのしし 鏡餅	株式会社インスマタル	千葉県
中央職業能力開発協会会長賞	卓越する技能を用い、独自の手法を開拓したと思われる作品	灯籠	株式会社荏原精密	神奈川県
日刊工業新聞社賞	技術水準・独創性がきわめて高く、業界の発展に貢献すると思われる作品	フランス水車 (水力タービン)	光陽電機株式会社	三重県
日本塑性加工学会会長賞	特に高度な曲げの技術・技能を用いた作品	Metal TOP	株式会社西野精器製作所	茨城県
海外最優秀作品賞	海外出品作品の中で技術・技能に優れた作品	タージマハル	Avalon Technology And Services Private Limited	インド

賞名	選考基準	作品名	受賞会社・団体	所在地
単体品の部 グランプリ	1枚の素板から作られた優れた特徴のある作品	スパイラル	Aarti Steel Enterprise	インド
組立品の部 グランプリ	複数の各部材を組み合わせた優れた特徴のある作品	SAKURA TUBE	株式会社田名部製作所	福岡県
溶接品の部 グランプリ	溶接の技術・技能に優れた特徴のある作品	漏斗	PLANCHISTERIA INDUSTRIAL PEÑARANDA, S.L.	スペイン
造形品の部 グランプリ	造形の考案とその表現に優れた特徴のある作品	火除けの油蟬	谷口鋳金有限会社	広島県
学生作品の部 金賞	学生の作品で特異性があり特に優秀と認められる作品	モノレールから見える街	三重県立津高等技術学校	三重県
審査委員会 特別賞	特異性があり審査委員会で特に優秀と認められる作品	御神輿	ナサ工業株式会社	福岡県
		N0001 蒸気機関車	株式会社伸原工業所	岩手県
		ハンドシュレッダー	細見鉄工株式会社	兵庫県
アマダ賞	最新の加工技術、設備機器を駆使して品質・コストの改善に寄与したと思われる作品	Main Case	田中電工株式会社	大阪府
		廻り階段	山口金属曲板工業株式会社	山口県
		KANZASHI 花と四季 4種	株式会社山崎製作所	静岡県
		野生動物	CIOR SOCIEDADELDA	ポルトガル
		排気システム	FACTORY PIPE LLC	アメリカ
		希望	FUJI IMPULSE VIETNAM Co.,LTD.	ベトナム

■ 応募作品の内訳

応募総数 263 点(国内 159 点、海外 104 点)

・「単体品の部」 84 点 ・「組立品の部」 70 点 ・「溶接品の部」 24 点
 ・「造形品の部」 53 点 ・「学生作品の部」 32 点

海外応募作品の国別内訳(全 104 点)

・中国 25 点 ・イタリア 12 点 ・インド 10 点 ・アメリカ 9 点
 ・韓国 6 点 ・タイ 6 点 ・イギリス 6 点 ・ドイツ 5 点
 ・フランス 5 点 ・ポーランド 5 点 ・台湾 4 点 ・オーストラリア 3 点
 ・スペイン 3 点 ・マレーシア 2 点 ・ベトナム 1 点 ・シンガポール 1 点
 ・ポルトガル 1 点

アマダグループは、毎年開催される「優秀板金製品技能フェア」を支援することで、金属加工機械の総合メーカーとして板金加工業界の発展と活性化を強力に推進していくとともに、金属加工というモノづくりを通じて地域社会と国際社会の発展に貢献し、世界中の人々の豊かな未来を実現していくために、引き続き努力してまいります。

以上

(参考)

<その他 受賞作品一覧>

■ 単体品の部・技能賞

作品名	受賞会社・団体	所在地
建材部品	株式会社アールコーポレーション	大阪府
浮きあがる富士	株式会社アルカディア	長野県
ちょうちん	株式会社イーエムオー	大阪府
丸棒 R 曲げ	有限会社石井製作所	愛知県
スタードーム	クリーンメタル株式会社	千葉県
正三角形による正三角形	クロダ精機株式会社	長野県
壺	株式会社坂口製作所	和歌山県
外壁パネル	有限会社太洋金属工業	岐阜県
曲げるな危険	有限会社長崎軽金属	長崎県
折り鶴	有限会社樋口工業	長野県
クラヴィーア	株式会社ワイビー	大阪府
国民が敬愛する国王(タイ)	Charoenchai Transformer Co.,Ltd.	タイ
自動車照明部品	EUROCOR, S.A.	スペイン
跆拳道(テコンドー)のイメージ穴あけ多孔板	SIMPLE LINE CO., LTD.	韓国

単体品の部・技能奨励賞は、計 63 点

■ 組立品の部・技能賞

作品名	受賞会社・団体	所在地
コーヒーカップ	株式会社アルカディア	長野県
KATAKATA-29	大善工業株式会社	大阪府
生きるとは	株式会社竹村製作所	京都府
Good 扇子	株式会社西野精器製作所	茨城県
子供が作れるバランスとんぼ	有限会社早野研工	岐阜県
車	株式会社マルエ製作所	静岡県
半導体部品カバー&ダクト	株式会社山梨ワークス	山梨県
組み立て型 カンランシャ	有限会社ケーテック	三重県
AED 収納ボックス	DARCO Sp. z o.o.	ポーランド
橋	MAGNIZEST ELEVATORS LLP	インド
多層アート	PSP LASER TECH PVT.LTD.	インド

その他、技能奨励賞は、計 52 点

■ 溶接品の部・技能賞

作品名	受賞会社・団体	所在地
金魚すくい	有限会社長崎軽金属	長崎県
蒸気発生器部品	高技工業株式会社	愛知県
螺旋状スクリュー	Aarti Steel Enterprise	インド

その他、技能奨励賞は、計 18 点

■ 造形品の部・技能賞

作品名	受賞会社・団体	所在地
マウント 富士	株式会社アルカディア	長野県
おしゃれ「じょうろ♡」	株式会社神村製作所	京都府
静岡県富士山世界遺産センター	株式会社玉吉製作所	静岡県
和	株式会社筑中工業所	福岡県
チャンピオンボール	株式会社ナダヨシ	福岡県
とって(取手)もイイ♪	有限会社平出製作所	長野県
脇差	株式会社フジトク産業	静岡県
鳳凰	有限会社鳳凰機械工業	徳島県
頂	三田村製作所	岐阜県
ヴァンドーム広場	DARGAISSE SAS	フランス
モナリザ	SW Metaform Pvt.Ltd.	インド

その他、技能奨励賞は、計 39 点

■ 学生作品の部

賞名	作品名	受賞校	所在地
銀賞	蟹	国立新竹高級工業職業学校	台湾
銅賞	波	木更津工業高等専門学校	千葉県
優秀賞	ピカピカハンマー	神奈川県立西部総合職業技術校	神奈川県
	ヘアラインステンレス製鉄道模型	神戸市立科学技術高等学校	兵庫県
	「リリエントールⅦ」グライダー	東京都立城南職業能力開発センター 大田校	東京都
	Metal Wall Clock	山形県立庄内職業能力開発センター	山形県
	Short Metal and Long Film	Lycée Professionnel Interentreprises	フランス

その他、奨励賞は、計 23 点、参考出品は、1 点

■ 特別奨励賞

選考基準	受賞会社・団体	所在地
第 31 回優秀板金製品技能フェアで、 出品回数が 10 回となった会社、学校	大田産業株式会社	兵庫県
	株式会社神村製作所	京都府
	ナサ工業株式会社	福岡県

【優秀板金製品技能フェアについて】

1. 目的

「優秀板金製品技能フェア」は、国内外の製造業において板金加工技術・技能の向上と交流を図り、業界全体の発展につながることを目的に 1989 年から毎年開催しています。現在は「単体品の部」、「組立品の部」、「溶接品の部」、「造形品の部」、「学生作品の部」の 5 つの部門で、毎年 5 月から国内はもとより海外からも板金加工作品を募っています。作品は、アマダ・ソリューションセンターで全て展示され、厳正な審査を経て翌年 3 月に表彰式を行っています。

2. 開催概要

募集分野: 「単体品の部」、「組立品の部」、「溶接品の部」、「造形品の部」、「学生作品の部」の合計 5 部門
作品募集期間: 平成 30 年 5 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日
選考期間: 平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日
表彰式: 平成 31 年 3 月 9 日

3. 運営

主 催: 職業訓練法人アマダスクール
協 賛: 一般社団法人日本塑性加工学会
後 援: 厚生労働省、経済産業省、神奈川県、中央職業能力開発協会、日刊工業新聞社、公益財団法人天田財団、全国シートメタル工業会、株式会社アマダホールディングス

4. 審査・選考

賞の選考は、日本塑性加工学会会員、シートメタル工業会役員、アマダ・ソリューションセンターの来場者の投票の後、学識経験者で構成される審査委員によって審査されます。特に優れた作品には分野を越えた「厚生労働大臣賞」、「経済産業大臣賞」、「神奈川県知事賞」、「中央職業能力開発協会会長賞」、「日刊工業新聞社賞」、「日本塑性加工学会会長賞」、「海外最優秀作品賞」が贈られます。また、「単体品の部」、「組立品の部」、「溶接品の部」、「造形品の部」の 4 つの部門の優秀作品には「グランプリ」、「学生作品の部」には「金賞」、「銀賞」、「銅賞」が贈られます。

以上